

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人ゆきわり会

事業種別	幼保連携型認定こども園・一時預かり事業
事業所名	SHINJO

目 次

項 目	ページ
事業総評	1
教育・保育の運営方針 フロー図	2
目的及び運営方針 教育方針	3
教育及び保育の中期運営方針	4～5
短期目標に関わる取り組み	6
経営する事業	7
施設詳細	8
クラス編成	8
年間行事	9
健康管理	9
衛生管理	10
栄養管理	10
職員の処遇	10～12
健康管理	13
研修計画	13
災害対策	13
地域社会との連携推進	14
内部研修 外部研修	15
リスク管理状況	16
令和4年度 年間行事表	17
アンケート集計結果	18～19
令和4年度保育教諭の自己点検評価	20～22
令和4年度 本人総合評価（保育教諭）	23

1. 令和4年度事業総評

令和4年度3月末日現在、園児数129名(1号認定12名、2・3号認定117名)となり

FIVEROOM24名、FOURROOM23名、THREEROOM21名、TWOROOM26名、ONEROOM18名、ZEROROOM18名になりました。

新型コロナウイルスの流行に伴い、昨年度も行事が制限されましたが、その中でも入園式、運動会、お遊戯会、卒園式を行うことができました。また、保護者の方と園児とで楽しんで頂きたく“SHINJO ENNICHII”を開催しお迎えの時間帯を利用してくじ引きなど楽しんでもらうことが出来ました。

保護者アンケートの“普段の園での様子をみたい”というご意見をうけてFIVEROOMだけではありませんが「WEEKLY参観」を行い短い時間ではありましたが、保護者に普段のROOMでの活動を参観していただくことが出来ました。その他として、日常の教育・保育活動の中にも、夏のお楽しみ会、ハロウィンパーティーなど子ども達が楽しめる活動を取り入れながら、コロナ禍の中で活動を行いました。

食育では、青森保健所はぐくみプラザさんから“食育レッスンワン・ツウ・スリー”の教材をお借りしてFIVE・FOURROOMの園児に保育教諭が園児に伝え、また、畑では大根とサツマイモを植え収穫し、家庭で調理して食べることで家族内での話題も増えたようでした。

健康面では新型コロナウイルスに感染症対策として換気・消毒・加湿・温度管理など行っていたが1月にZEROROOMとONEROOMで感染性胃腸炎（ノロウイルス）が流行し胃腸炎の際の対応の仕方を再確認することになりました。

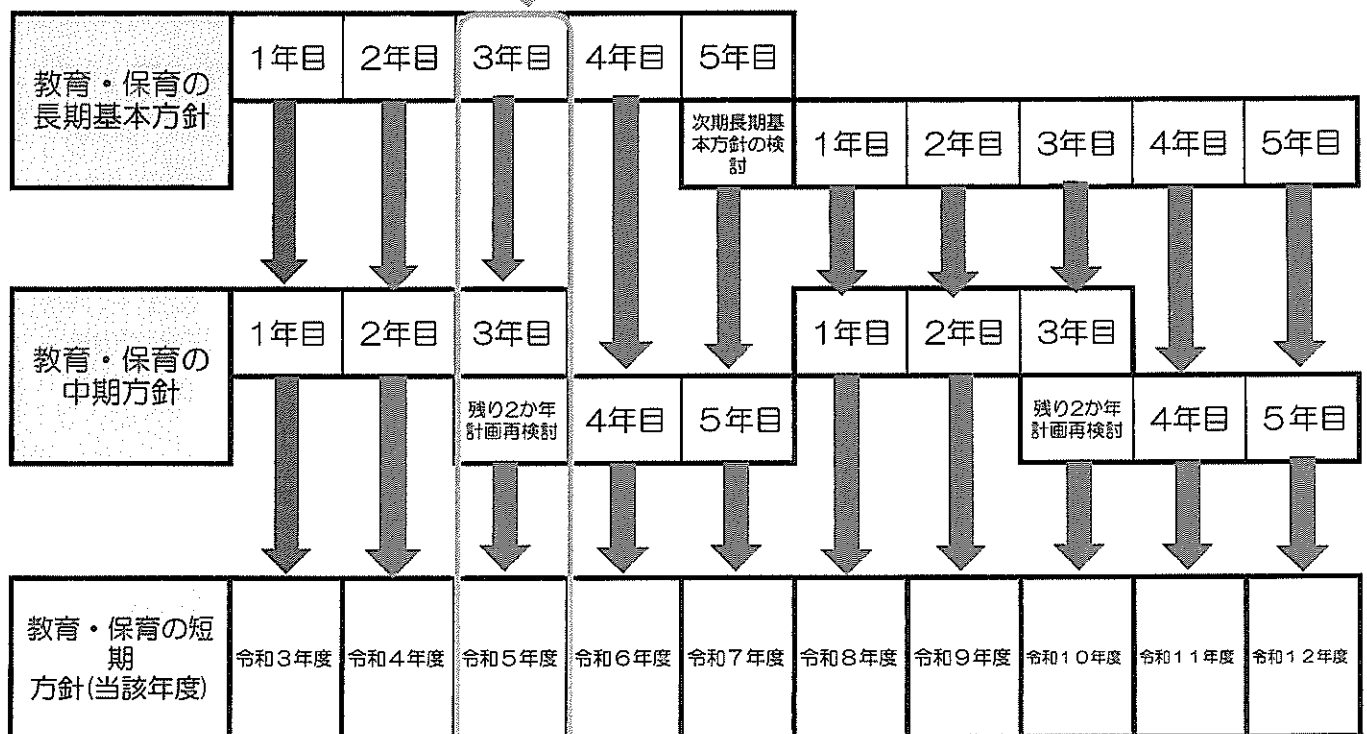
園児の発達に関して保護者と面談し子ども達がより良く成長していくことができるよう園での様子、家庭での姿を伝え合っていました。その中で、発達相談事業所に相談に行く保護者もあり、子どもの発達について保護者も向き合いながら、その子に今できる事を考えることを共に考えることが出来ました。

今後、新型コロナウイルスが緩和されていく令和5年度も対策を行いながらいろんな活動を取り入れて園児が毎日楽しんで通え、保護者様が安心して預けられる園になるように職員一同努めていきたいと思います。

社会福祉法人ゆきわり会「教育及び保育」の運営方針

当法人は、下記のとおり「法人理念」に基づく「教育及び保育の基本理念」を具体的に掲げ、教育及び保育の維持・向上を図るため「長期方針(5ヵ年)」、「中期方針(3ヵ年)」を定め、具体的に達成するべく「短期教育及び保育目標(方針)」を認定こども園SHINJOに策定しております。 ※詳細、以下「短期教育及び保育目標」のとおり。

法人理念	園児の命を守る	園児にハピネスを	スマイル
	↓	↓	↓
教育・保育の基本理念	1.安全・安心な教育及び保育	2.満足のいく教育及び保育	3.楽しいと思える教育及び保育
	SHINJOを利用する園児及び保護者にとって、SHINJOは生命・身体の安全と権利が擁護され、安心して利用できる教育及び保育の提供に努めます。	SHINJOは保護者とともに、園児の個性や特性に配慮し、人格を尊重しながら満足感を与える教育及び保育の提供に努めます。	SHINJOを利用する園児の生きる力の基礎を育成するための教育の基礎を培うとともに、楽しく笑顔があふれるような教育及び保育の提供に努めます。



教育及び保育の「運営方針」

教育及び保育の基本理念（標語）

1、安全・安心な教育及び保育（園児の命を守る）

- SHINJOを利用する園児及び保護者にとって、SHINJOは生命・身体の安全と権利が擁護され、安心して利用できる教育及び保育の提供に努めます。

2、満足のいく教育及び保育（園児にハピネスを）

- SHINJOは保護者とともに、園児の個性や特性に配慮し、人格を尊重しながら満足感を与える教育及び保育の提供に努めます。

3、楽しいと思える教育及び保育（スマイル）

- SHINJOを利用する園児の生きる力の基礎を育成するための教育の基礎を培うとともに、楽しく笑顔があふれるような教育及び保育の提供に努めます。

教育及び保育の長期基本方針（令和3年度～令和7年度）

1、事故ゼロに向けた取組の実施

- SHINJOでの事故防止対策に力を入れ、事故ゼロを目指し園児及び保護者が安心して利用できる園づくりを目指します。

2、園児と保護者の満足度の向上を図る

- 園に対する苦情件数ゼロを目指し、満足感あふれる園づくりと喜ばれる教育及び保育の提供に努めます。

3、楽しいと思える活動を提供する

- 地域民と同じ文化圏に暮らす中で、園児や保護者が喜びや充実感・達成感を味わい、自ら成長を感じ取れるような教育及び保育を提供していきます。

1、安心・安全な教育及び保育の取組

- ① 事故防止による安全の確保
 - ・ リスクマネジメント意識の高揚
 - ・ ヒヤリハットによる事故の未然防止
 - ・ リスクマネジャーの養成
 - ・ 重大事故防止
- ② 環境及び衛生管理の取組
 - ・ 定期的な安全点検の実施
 - ・ 安全点検チェックリストの活用
 - ・ 職員の衛生知識の向上と対応手順の周知徹底
 - ・ 食中毒予防と食中毒発生時の対応
- ③ 各種法令や規則等の遵守
 - ・ 児童虐待防止法や個人情報保護法などの遵守
 - ・ 自主点検表による運営内容等のチェック
 - ・ 法令等に関する研修参加や勉強会等を実施
- ④ 健康支援
 - ・ 保健計画の作成と実践
 - ・ 感染症の集団発生予防
 - ・ アレルギー疾患への対応
 - ・ 虐待の予防・早期発見等の対策
- ⑤ 災害対策の徹底
 - ・ 施設・設備等の安全確保
 - ・ 災害発生時の対応体制及び避難の備え
 - ・ 地域の関係機関等との連携
- ⑥ 職員の資質・技術の研鑽
 - ・ 各種外部研修への参加
 - ・ 内部研修の実施
 - ・ 自己研鑽の奨励
- ⑦ 健康管理への取り組み
 - ・ 日常養護と健康管理
 - ・ 病気の予防と早期発見
 - ・ 健康指導と保健指導
 - ・ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師との連携

2、満足^{まんぞく}のいく^{きょういく}教育・保育^{ほいく}の提供^{ていきょう}

- ① 保護者^{ほごしや}に対する^{たい}子育て支援^{こそだ}への取組^{しえん}
 - ・保護者^{ほごしや}の自己^じ決定^{こけつてい}の尊重^{そんちゆう}
 - ・保護者^{ほごしや}の仕事^{しごと}と子育て^{こそだ}の両立^{りやうりつどう}等の支援^{しえん}
 - ・地域^{ちいき}子ども^こ子育て^{こそだ}支援事業^{しえんじぎょう}（一時^{いちじ}預かり^{あず}支援事業^{しえんじぎょう}、延長^{えんちよう}保育事業^{ほいくじぎょう}等^{とう}）
 - ・障害^{しょうがい}や発達^{はつたつじよう}上の課題^{かだい}のある園児^{えんじ}の保護者^{ほごしや}支援^{しえん}
 - ・保護者^{ほごしや}に不^ふ適切^{てきせつ}な養育^{よういく}等^{とう}が疑^{うたが}われる場合^{ばあい}の支援^{しえん}
- ② 個性^{こせい}・特性^{とくせい}の把握^{はあく}
 - ・全体的^{ぜんたいてき}な計画^{けいかく}作成^{さくせい}に必要な^{ひつよう}基礎^{きそ}的事項^{てきじこう}についての理解^{りかい}
 - ・具体的^{ぐたいてき}なねらい^{ないよう}と内容^{そしき}の組織^か化
 - ・全体的^{ぜんたいてき}な計画^{けいかく}の作成^{さくせい}、結果^{けつか}を評価^{ひようか}、次^{つぎ}の作成^{さくせい}への反映^{はんえい}
 - ・保護者^{ほごしや}や関係者^{かんけいしや}等^{とう}との連携^{れんけい}した食育^{しょくいく}の取組^{とりくみ}
- ④ 満足度^{まんぞくど}調査^{ちゆうさ}の実施^{じっし}
 - ・保護者^{ほごしや}アンケート^{あんけい}による保護者^{ほごしや}の満足度^{まんぞくど}の確認^{かくにん}
 - ・食事^{しょくじ}の内容^{ないよう}や提供^{ていきょう}方法^{ぼうほう}などの満足度^{まんぞくど}調査^{ちゆうさ}及び残菜^{ざんさい}調査^{ちゆうさ}の実施^{じっし}

3、活動^{かつどう}が楽しい^{たの}と思^{おも}える教育^{きょういく}及び保育^{ほいく}の提供^{ていきょう}

- ① 乳幼児^{にゅうようじ}期^きにふさわしい生活^{せいかつ}を営^{いとな}むための活動^{かつどう}の提供^{ていきょう}
 - ・園児^{えんじ}自ら^{みづか}が興味^{きょうみ}をもつて主体的^{しゆたいてき}に関わ^{かか}れる様々^{さまざま}な活動^{かつどう}を展^{てん}開^{かい}
 - ・充^{じゆう}実感^{じつかん}や満^{まん}足感^{ぞくかん}を味^{あじ}わうことのできる活動^{かつどう}の計^{けい}画^{かく}
- ② 教育^{きょういく}及び保育^{ほいく}における活動^{かつどう}に対する保護者^{ほごしや}等^{とう}の支援^{しえん}
 - ・保護者^{ほごしや}に園^{えん}の活動^{かつどう}や行事^{ぎやうじとう}等に積極^{せつぎよく}的に参^{さん}加^かと楽しい^{たの}と思^{おも}える活動^{かつどう}の提供^{ていきょう}
 - ・障害^{しょうがい}や発達^{はつたつじよう}上の課題^{かだい}のある園児^{えんじ}の保護者^{ほごしや}支援^{しえん}
- ③ 地域^{ちいき}の催事^{さいじ}参^{さん}加^かや公共^{こうきょう}資^し源^{げん}の利^り用^{よう}計^{けい}画^{かく}
 - ・地域^{ちいき}の催事^{さいじ}に参^{さん}加^かでき^るよう楽^{たの}しみ^のの提供^{ていきょう}
 - ・近^{きん}隣^{りん}の公^{こう}共^{きょう}施^し設^{せつ}の見^{けん}学^{がく}など^を計^{けい}画^{かく}し、楽^{たの}しめ^る活^{かつ}動^{どう}を^ふ増^{ぞう}や^して^いく

【認定こども園SHINJO】令和4年度 教育及び保育 短期目標に関わる取り組み

中期方針 (令和3年度～令和5年度)		令和4年度 (具体的な取り組み)			令和5年度 (具体的な取り組み)
1. 安心・安全な教育及び保育の取組		達成	未達成 (継続)	達成・未達成の根拠	
①	事故防止による安全の確保	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	リスクマネージメント養成の研修に参加できなかった。	①リスクマネジメントに関する周知の徹底 ②ヒヤリハットに対するの解決策
②	環境整備及び衛生管理の取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	毎月の安全点検の中で職員全体で共通意識に差があると感じた。	①毎月の安全点検を徹底 ②ロタウイルスなどの感染性の高いものに対する消毒などの徹底
③	各種法令や規則等の遵守	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	『不適切な関り』という内容でグループ討議できた。	①児童虐待防止マニュアル及び個人情報規定の周知の徹底と『不適切な関り』に関する研修
④	健康支援	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	感染症流行時はお便りなど配布し伝えていった。会議の際にはアレルギー疾患の子どもの確認をおこなっていった。	①感染性の病気の流行する兆しがあった場合は職員で周知し保護者にも伝えていき、蔓延防止していく。
⑤	災害対策の徹底	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	新型コロナウイルスの影響のため地域との連携は行えなかった。	①様々な訓練の中での避難経路の周知、徹底 ②地域との連携、接続を図る
⑥	職員の資質・技術の研鑽	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	新型コロナウイルス蔓延の為参加できなかった研修もあったが、オンラインを使った研修やキャリアアップ研修に参加出来た職員もいる。	①外部研修への積極的な参加 ②乳幼児の救急法の習得
⑦	健康管理への取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	手洗いなどの指導は日々行っていたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い歯科医による歯磨き指導は行えなかった。	①手洗い、うがい、手指の消毒の徹底及び指導の実施 ②歯科医における歯磨き指導の実施
2. 満足のいく教育・保育の提供		達成	未達成 (継続)	達成・未達成の根拠	令和5年度 (具体的な取り組み)
①	保護者に対する子育て支援への取組	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	園児の発達支援の為に面談を必要に応じて行うことができた。	①発達支援の為に保護者との面談実施 ②児童相談所との連携
②	個性・特性の把握	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	療育施設との情報交換を行うことができた。畑では収穫の楽しさを感じることが出来ていた。	①個々の特性を理解し発達を促す指導計画の実施 ②畑での野菜作りを通しての食育の実施
③	満足度調査の実施	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保護者アンケートの要望に添いながら、職員全体で周知した。	①保護者アンケートを行いその中で要望に添える教育・保育の提供 ②保育参観を分散型にし園児の普段の様子を公開する
3. こども園での活動が楽しいと思える教育・保育の提供		達成	未達成 (継続)	達成・未達成の根拠	令和5年度 (具体的な取り組み)
①	乳幼児期にふさわしい生活を営むための活動の提供	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子どもの発達に合わせ教育・保育内容やを見直しながら友達関係が築けるような関りをしていった。	①友達や保育教諭との関りの中で園児が楽しめる活動の計画、実施
②	教育及び保育における活動に対する保護者等の支援	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コロナ禍という事もあり地域の行事も中止になったがその中でも園内でお祭りやハロウィンパーティーなど行った。また、運動会も0・1歳児は本部の体育館を利用して新たな雰囲気でも出来た。	①夏祭りや運動会などの内容を考え子ども達が楽しめる活動を実施
③	地域の催事参加や公共資源の利用計画	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4.5歳児はプラネタリウム見学に行く事ができたが、公共施設利用はコロナ禍では困難さを感じた。	①園外保育として公共の施設を利用しながら、楽しめる活動を増やしていく

1 経営する事業

- ・一時預かり事業

継続的短時間就労・職業訓練等で一時的に保育の必要な児童の保育や保護者の疾病・看護・出産・冠婚葬祭・等による緊急時の児童の保育、育児に伴う心理的・肉体的負担を解消する当の理由による一時預かり事業への取り組みにより地域における児童の福祉の増進を図っている。しかし令和4年度は新型コロナウイルスの事もあり一般型の利用はなかった。

利用実績延べ人数（一般型）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
4時間未満	0	0	0	0	0	0
4時間以上	0	0	0	0	0	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4時間未満	0	0	0	0	0	0
4時間以上	0	0	0	0	0	0
年間延べ利用児童数						0

利用実績延べ人数（幼稚園型）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
8時間以内	37	43	34	49	35	86
8時間超	0	1	11	1	10	1
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8時間以内	78	46	68	80	89	109
8時間超	0	1	0	0	0	0
年間延べ利用児童数						779

- ・障がい児保育事業(ふれあい保育事業)

「障害のある子もない子も当たり前」いまでは障害をひとつの個性としてごく自然な状態で

定着している。今年度は5歳児に2名、4歳児に2名、3歳児に2名のふれあい保育対象児童在籍。

- ・延長保育促進事業

就労形態の多様化、通勤時間の増加等による延長保育に対する需要に対応することにより、児童の福祉の増進に寄与していきたい。

青森市の郊外に位置する当園は、保護者の通勤時間もかかるため、延長保育を実施することにより児童の情緒の安定をはかることができ、保護者の負担軽減に寄与することができた。

延長保育利用実績延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
短時間	28	48	48	47	36	49
標準時間	99	77	85	53	39	75
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短時間	43	19	44	7	30	31
標準時間	85	74	64	54	77	89
年間延べ利用児童数						1301

施設詳細

開園時間	07:00-19:00 保育標準時間利用者のかたは、18:00以降有料 1号認定利用者の方は、教育時間終了後から18:00は有料 保育短時間利用者の方は16:00から有料
受け入れ年齢	生後43日から
定員	1号認定子ども15名 2号認定子ども45名 3号認定子ども45名

クラス編成
(令和4年4月1日時点)

クラス名	年齢	児童数(1号認定)	児童数(2・3号認定)
ZERO ROOM	0歳児	0名	7名
ONE ROOM	1歳児	0名	17名
TWO ROOM	2歳児	0名	23名
THREE ROOM	3歳児	2名	19名
FOUR ROOM	4歳児	2名	21名
FIVE ROOM	5歳児	6名	18名
計		10名	105名

利用園児実績延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
在籍人数	115	116	117	118	122	122
利用園児実績延べ人数	2875	2651	3009	2943	3170	2927
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍人数	125	127	128	129	129	129
利用園児実績延べ人数	3124	3060	3048	2966	2835	3332
年間延べ利用児童数						35940

年間行事

4月	入園式・始業式・お誕生会・避難訓練 内科検診	10月	運動会、交通安全教室・ハロウィーン 内科検診・歯科検診
5月	お誕生会・避難訓練	11月	お誕生会・避難訓練 りんご狩り
6月	お誕生会・避難訓練 歯科検診	12月	おゆうぎ会・クリスマス会・お誕生会 避難訓練・終業式
7月	お誕生会・避難訓練 夏のおたのしみ会	1月	始業式・お誕生会・避難訓練
8月	お誕生会・避難訓練 終業式・始業式	2月	豆まき・お誕生会・避難訓練 おひな様撮影会・内科検診・歯科検診
9月	お誕生会・避難訓練 SHINJO縁日	3月	ひな祭り・お誕生会・避難訓練 卒園式

※毎月実施：避難訓練・誕生会
※新型コロナウイルス感染症の為、行事自粛

健康管理

園児一人ひとりの発育発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長がとげられるよう次の点に取り組む。

- ・日常養護と健康管理
- ・安全と事故防止
- ・病気の予防と早期発見
- ・健康指導と保健指導
- ・環境衛生

学校医 舘山 尚 (象こどもクリニック)
 学校歯科医 折笠 和俊 (おりかさクリニック)
 学校薬剤師 尾崎 智子 (株式会社青森調剤センター)

- ◎ 健康診断 年2回実施
- ◎ 歯科健診 年2回実施
- ◎ 身体測定 毎月実施
- ◎ 手洗い 歯磨き指導 日常実施

衛生管理

感性症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う。

栄養管理（PCソフトによる栄養管理）

◇ 年齢別構成表及び給与栄養目標量（1人当たり）

区 分	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA (μgRE)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
1～2歳児	450	11.3～22.5	10.0～15.0	200	2.3	200	0.25	0.30	20
3～5歳児	400	11.9～26.5	12.7～19.2	267	2.4	203	0.29	0.35	20

栄養士による給食献立表を基に給食を提供。離乳食は個人に添った進み方をしいく。また、アレルギー児の除去食もそれぞれに対応をし、保護者・保育教諭・栄養士と話し合いながら進めていき除去食も少なくなっている。

◇食育の推進

玄関先に本日のメニューを大きく掲示することで給食への期待感を持ち、親子の会話にもつながる。また、今年は畑も出来大根・サツマイモ・かぼちゃとの苗を植え、収穫することができた。家に持ち帰り家庭でどうやって食べたのかを話す機会もつくって行った。また、普段のから作ってくれる人への感謝や大事に食べるという事が学べるよう配慮していった。

職員の処遇（令和5年3月1日）

園長1名、副園長1名、主幹教諭2名、保育教諭18名、パート保育教諭6名、准看護師1名、栄養士1名、調理員3名、用務員2名、運転手（兼務）

職 名		氏 名	職 務 内 容
園 長		土岐 美穂	園の業務を統括する
副 園 長		山本千恵子	園長業務補佐・園全体の環境整備や運営管理業務を統括する
主幹保育教諭		竹内真弓美	保護者・地域社会との連絡調整・職員の助言・指導補佐行事に関する計画の作成実地
主幹保育教諭		竹内玲子	保護者・地域社会との連絡調整・職員の助言・指導補佐行事に関する計画の作成実地
5歳児	幼児クラスリーダー	木立静夏	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う。 一時預かり延長保育担当
	食育アレルギーリーダー	柳谷樹里	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 園児の食育に係る計画やアレルギーに関する事項の担当一時預かり・延長保育担当
4歳児	保護者支援リーダー	森 寿子	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	音楽リズムリーダー	尾野綾子	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う さくらさくらんぼリズム運動の計画、一時預かり・送迎バス担当
	保育教諭	坂本希美	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当

3歳児	障がい児教育・保育リーダー	赤石まゆみ	園内外の感染症対策・災害時対応研修担当 避難訓練立案実施 教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 一時預かり延長保育担当 園バス担当
	障がい児教育・保育リーダー	大橋愛子	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う。障がい児にかかわる研修担当 一時預かり延長保育担当
	保育教諭	野呂麗奈	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	保育教諭	小山内有紗	教育・保育業務の補佐
2歳児	保護者支援リーダー	岩崎千恵子	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	保育教諭	對馬美咲	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	保健衛生・安全対策リーダー	鹿内琴美	園内外の感染症対策・災害時対応研修担当 避難訓練立案実施 教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 一時預かり延長保育担当
	保育教諭	沼倉江利子	教育・保育業務の補佐
	保育教諭	石川清香	教育・保育業務の補佐
1歳児	未満児クラスリーダー	長谷川はるか	未歳児クラスに従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務、離乳食に関する事項、延長保育担当・一時預かり担当
	食育アレルギーリーダー	尾野媛音	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 園児の食育に係る計画やアレルギーに関する事項の担当一時預かり・延長保育担当
	保護者支援リーダー	須藤杏奈	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	保育教諭	野呂沙恵子	教育・保育業務の補佐
0歳児	乳児クラス・保護者支援リーダー	成田真紀子	0歳児クラスに従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務、離乳食に関する事項、保護者支援に関する事項の研修担当 延長保育担当・一時預かり担当
	食育アレルギーリーダー	高谷晶子	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 園児の食育に係る計画やアレルギーに関する事項の担当一時預かり・延長保育担当
	障がい児教育・保育リーダー	佐野穂波	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う。障がい児にかかわる研修担当 一時預かり延長保育担当
	保護者支援リーダー	片山貴美子	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保護者支援に関する事項の研修担当、一時預かり延長保育担当
	保育教諭	阿部 京子	教育・保育業務の補佐
	看護職員	鈴木久美子	園児の健康管理・ケガ病気への予防の対策・対応
	保育教諭	溝江八重子	教育・保育業務の補佐 園バス担当
給食	栄養士	小笠原ゆかり	給食業務の総括管理・献立表の作成及調理の実施水具食器の保管・管理
	食育アレルギーリーダー 調理員	木村由布子	調理実地の補充給・給食業務補助・水具食器の保管・管理・調理室清掃整備
	調理員	三浦 富子	調理実地の補充給・給食業務補助・水具食器の保管・管理・調理室清掃整備
	調理員	工藤奈緒子	

用 務 員	福井 律子	園内外の清掃担当
用 務 員	竹達美裕輝	
運転手	成田正志	通園バスの送迎担当
運転手	荒木関友彦	

健康管理

健康診断 年1回実施（指定健康診断医 工藤内科クリニック）*40歳以上付加項目検査

各種会議等

職員会議	月1回実施
給食会議	月1回実施
クラスミーティング	月1回実施

研修計画

職員全体の質の向上をめざし、専門性の知識を高めるため研修に参加し、自己研鑽に務めていく。

①職場研修

キャリアパス研修や園外研修で得た知識を職員がリーダーとなり伝え、また、多くの研修が

ネットでの開催などであり参加した。

②自己評価を行い、日々の保育実践や業務を真摯に振り返り、評価や改善向上のための行動指針としていった。

災害対策

日本防災による火災報知器等の保守点検（年2回）と有事（自然災害等）の備蓄用品（発電機、災害用非常灯（スミスライト）、テント、飲料水、食品等）の点検整備を行った。

◇避難訓練年間実施

月	想定	内容
4月	火災	園舎向かいの墓からの火災発生による屋内待機
5月	不審者	園庭から不審者が侵入
6月	火災（総合） AEDの使い方	給食室からの火災発生による屋外避難 テキストを見ての練習
7月	地震	屋内で待機
8月	水害	屋内で待機
9月	園バスクラクション訓練 火災	園駐車場にて園バスのクラクション園児が鳴らす 園舎前の一般家屋からの火災発生による避難
10月	不審者	園庭から不審者が侵入
11月	雨・土砂災害	屋内で待機
12月	火災（総合）	配電盤からの火災発生による非常口待機
1月	地震	地震発生による避難
2月	火災	園舎前の一般家屋からの火災発生による避難
3月	地震 園バスクラクション訓練	地震発生による避難 園駐車場にて園バスのクラクション園児が鳴らす

地域社会との連携推進

(1) 地域社会へ園（社会資源）としての機能を開放・還元ということで月に1度「こどもえんであそぼう」を未就学児や保育園などに入園をしていない方を対象に行ってきたが今回は新型コロナウイルス感染を考慮し行うことが出来なかった。

(2) 地域老人福祉施設等の訪問交流は新型コロナウイルス感染を考慮し行うことが出来なかった。

(3) 新型コロナウイルス蔓延にともない中高生の職場体験活動（ボランティア）の要請はなかったが養成校の保育実習の学生も受け入れていった。保育教諭になりたいという意欲を十分発揮できるよう、学生に関わり指導して行った。中学生のボランティア・インターシップ、高校生のインターシップは新型コロナウイルスの事がり今年度はなかった。

受け入れ実績

5/10～6/11	東奥保育・福祉専門学園（1名）	保育実習
8/29～9/10	仙台大学（1名）	保育実習
10/17～10/27	青森中央短期大学（1名）	保育実習
10/31～11/29	仙台こども専門学校（1名）	保育実習
2/13～2/24	青森明の星短期大学（1名）	保育実習
2/13～2/27	青森中央短期大学（2名）	保育実習

(4) 西部市民センター“親子であそぼ！みんなおいで”に例年、保育教諭2人が参加し、地域の親子に向けて製作活動やふれあい遊び、体操などをしながら活動に参加したが、新型コロナウイルスの感染状況によっては中止や、参加者がいなかったこともあった。

内部研修

開催月	内 容	講 師	開始場所
4月	新任研修	園長・副園長・主幹保育教諭	STUDYROOM
6月	ここから始める！超初級ドキュメンテーション	大豆生田啓友（YouTube配信）	
8月	これって虐待？子どもの笑顔を守るために	全国保育士会：各自資料を読む	
2月	「不適切な関わり」とは事例の中から考え	園長（グループ討議）	STUDYROOM

外部研修

開催月	内 容	講 師	開始場所
7月	保育士等キャリアアップ対象研修会「保育実践分野研修会」	岩手県立児童館いわて子どもの森 長崎 由紀 氏	オンライン受講
8月	保育士等キャリアアップ対象研修会「障害児保育研修会」	ライフサポートあおばセンター長 前中 貴次氏 他	オンライン受講
11月	保育士等キャリアアップ対象研修会「乳児保育分野研修会」	青森保健大学教授 吉池 信男 氏 他	オンライン受講
12月	保育士等キャリアアップ対象研修会「食育・アレルギー分野研修会者支援」	青森保健大学教授 吉池 信男 氏 他	オンライン受講
1月	保育士等キャリアアップ対象研修会「食育・アレルギー分野研修会者支援」	青森保健大学教授 吉池 信男 氏 他	オンライン受講

リスク管理状況

1. 予防対策状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ヒヤリハット提出件数	4	2	1	1	4	3	2	1	0	2	0	0	20
改善実施件数	4	2	1	1	4	3	2	1	0	2	0	0	20
改善検討中件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 感染症発生状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新型コロナウイルス	0	0	0	2	12	1	2	2	2	0	1	1	23
RSウイルス	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	5
感染性胃腸炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	15
インフルエンザウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	4

3. 苦情・要望・相談の受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受付件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
サービス件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
園児関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
制度・事務関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
解決件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
未解決事項	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和4年度 年間行事予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	金	水	水	金	1月	木	立	立	1木	日	日	水
2	土	木	木	土	2火	金	日	日	2金	月	月	木
3	日	金	金	日	3水	土	月	月	3土	火	火	金
4	月	土	土	月	4木	日	火	火	4日	水	水	土
5	火	日	日	火	5金	月	水	水	5月	木	木	日
6	水	月	月	水	6土	火	木	木	6火	金	金	月
7	木	火	火	木	7日	水	金	金	7水	土	土	火
8	金	水	水	金	8月	木	土	土	8木	日	日	水
9	土	木	木	土	9火	金	日	日	9金	月	月	木
10	日	金	金	日	10水	土	月	月	10土	火	火	金
11	月	土	土	月	11木	日	火	火	11日	水	水	土
12	火	日	日	火	12金	月	水	水	12月	木	木	日
13	水	月	月	水	13土	火	木	木	13火	金	金	月
14	木	火	火	木	14日	金	土	土	14水	日	日	火
15	金	水	水	金	15月	木	土	土	15木	月	月	水
16	土	木	木	土	16火	金	日	日	16金	火	火	木
17	日	金	金	日	17水	土	月	月	17土	日	日	金
18	月	土	土	月	18木	日	火	火	18日	月	月	土
19	火	日	日	火	19金	月	水	水	19月	火	火	日
20	水	月	月	水	20土	火	木	木	20火	金	金	月
21	木	火	火	木	21日	土	土	土	21水	日	日	火
22	金	水	水	金	22月	木	土	土	22木	月	月	水
23	土	木	木	土	23火	金	日	日	23土	火	火	木
24	日	金	金	日	24水	土	月	月	24日	日	日	金
25	月	土	土	月	25木	日	火	火	25日	月	月	土
26	火	日	日	火	26金	月	水	水	26月	火	火	日
27	水	月	月	水	27土	火	木	木	27火	金	金	月
28	木	火	火	木	28日	土	土	土	28水	日	日	火
29	金	水	水	金	29月	木	土	土	29木	月	月	水
30	土	木	木	土	30火	金	日	日	30金	火	火	木
31	日	火	火	日	31水	土	月	月	31土	日	日	金

※入園式

※内科・歯科検診

※一学期定休日8日～13日

※小中学校交流委員会(予定)

※小中学校交流委員会(38～5月)

※一学期定休日24日～1/5

※小中学校交流委員会(予定)

※小中学校交流委員会(予定)

※小中学校交流委員会(予定)

※小中学校交流委員会(予定)

※小中学校交流委員会(予定)

※小中学校交流委員会(予定)

令和4年度アンケート集計結果

1. 認定こども園を利用し、満足していますか？

- ①満足：82% ②やや満足：11% ③普通：6%
④やや不満：1% ⑤不満：0% ⑥どちらともいえない：0%

<具体的には>

- ・感染対策の実施が徹底されている ・先生方と話しやすい
- ・コロナ禍でおゆうぎ会を無事に実施して頂きありがたい
- ・連絡帳がネットなので便利 ・ご飯を食べるのが苦手だったのに食べれるようになった
- ・子どもが楽しそうに通っている
- ・初めてのこども園で不安はあったが先生方がとても親切で安心できる
- ・キッズビューの入力ミスや持ち物の確認チェックのミスが多い
- ・オムツかぶれになる事が多い ・家で出来ない遊びを体験できている
- ・おゆうぎ会ではクラスごとに入れ替えして席を事前に決めてくれたおかげでゆっくり参加することが出来た ・園の様子がわからないのできちんと園児を見ているのか疑問
- ・コロナ感染の情報などメールや電話で迅速に対応していて安心
- ・家では経験できない事ルールやお友達とのかかわり方などたくさん学んでいる
- ・仕事の都合上、習い事はあきらめていましたが積極的に取り組んで下さるのでありがたい
- ・不満が見つかりません ・帰りの時間の変更など柔軟に対応して頂き助かっている
- ・大根堀り、芋堀り、プラネタリウムなどの野外活動が多く子どもが楽しかったと話す
- ・ネットで写真購入できる際、普段の園での様子をかいま見れるのが楽しい

2. 利用する上で何か困っている事はありますか？

- ①あり：10% ②なし：90%

<具体的には>

- ・迎えに来た車が園から直進の道を通って園に入って行くのを何度か見かけた。雪道だから寄るのも大変なので園で決められた通路を通ってほしい
- ・冬期間中の降園時、玄関前での待ち時間がとにかくつらい
- ・コロナの連絡はメールではなくLINEがよい
- ・お迎えの時に呼ばれているのがわからず待っていて呼ばれていなかったことが分かりすごく時間がかかった
- ・欠席中にみんなに言っている連絡が出席後も連絡がこないことがあった
- ・たまに、朝登園した際玄関に誰も居ないことがあった
- ・運動会やおゆうぎ会の日程をもう少し早めに教えてほしい
- ・離乳食の量(g)や与えている時間を教えて欲しい
- ・コロナ休園が多いと仕事もしづらい ・あまり良くない言葉を覚えてくる
- ・困っていることがない

3. 職員の対応はいかがですか？

- ①満足：76% ②やや満足：19% ③普通：4%
④やや不満：1% ⑤不満：0% ⑥どちらともいえない：0%

1

<具体的には>

- ・キッズビューやお迎えの時に園の様子を教えてくれる
- ・少し嫌な気持ちになるような話し方をされた ・子どもの事を一番に考えている
- ・園児そして保護者の話をしっかり聞いてくれ、対応してくれ助かっている
- ・とても優しく話しやすい ・休んでいたことを他の先生も知っていて感心した
- ・泣いて登園した際時間がかかってしまうが、玄関にいる先生が皆さん優しく接してくれてありがたい ・たまに挨拶をしない先生がいる
- ・他のクラスの先生も名前を覚えてくれていて嬉しい
- ・朝、玄関に先生が1人しか居なく小さい子を抱っこしながら何人もの子を対応しているのを見てちょっと大変そうだった ・先生の名前と顔が一致しない
- ・保育の事や中の様子を質問しても濁されていることが多く、ごまかされている感じがする
- ・「せんせいだいすき」「もっと遊びたかった」と家で毎日いっている
- ・風邪などいろいろ迷惑をかけているが温かい対応に感謝している
- ・良い先生に恵まれて嬉しい ・元気に挨拶していただき、朝から元気をいただいています
- ・どんな場面でも温かく笑顔で丁寧に対応してもらっている

4. TWO~FIVEROOMのご家庭にお聞きします。お子さんは園の給食で何が好きですか？
また、ご家庭のメニューで何が好きですか？(今後の献立に生かしたいと考えております)

園のメニューで好きなもの

- ・カレーライス・すき昆布・ほうれん草のしらす和え・魚類・から揚げ・シチュー類
- ・すいとん汁・せんべい汁・シルバーサラダ・麺類・フランクフルト・ホットケーキ
- ・ハンバーグ・ちくわ納豆(ちくわの肉詰め)

ご家庭のメニューで好きなもの

- ・シチュー・お好み焼き・おでん・玉子焼き・麺類・牛丼・ハンバーグ・納豆・エビフライ
- ・ポテトフライ・焼き鳥・オムライス・餃子・チャーハン・ローストビーフ・切り干し大根
- ・ピザ・ピピンバ・茶碗蒸し・から揚げ・白いご飯

5. その他何かありましたら、ご自由にお書きください。

- ・子ども達に向ける先生方の優しい視線からもとても愛を感じる
- ・コロナ禍でも多くの行事を企画してもらい親子とも楽しく過ごせた
- ・カメラを付けてクラスの中を見えるようにしてほしい
- ・きつい言葉で園児と接していた ・運動会の席もくじ引きがいい
- ・お礼を言いたいので、クラスの先生が異動や退職の時は早めに教えてほしい
- ・運動会、お遊戯会は少人数が見えやすく時間も早く終わるのでよい
- ・仲良しの友達もできこども園に行く事を楽しみになり安心する
- ・担任の先生と話をしたい時は声を掛けてと言われたが実際言いにくいので、面談を希望するしないで先生と親の交流の場があってもよいと思う
- ・アンケートは無記名でポストに入れるかたちがいい
- ・こども園の献立が参考になる事が多い、写真や量もみたい
- ・朝早くから遅くまで一日中面倒をみて育てていただきありがとうございます
- ・子に対して名前ではなく「あなた」と呼んでいた ・参観日が無くなったのが悲しい
- ・日々の様子のDVDとかあればよい
- ・感染症対策でクラスまでむかえに行けなくなったのが少し寂しい
- ・お遊戯会で子どもの演技する順に保護者も席を移動すればよいのではないか自分の子が出ない時もセンター席に居る必要がないと思う
- ・友達がスカートはいてる、中ズックにキャラクターが入っているのがいいと言い、園で規制があるのかわわからずある程度決まりがあってもよいと思う
- ・コロナで登園自粛中で休んでいる間、運動会やおゆうぎ会の練習が進んでしまい本人が遅れを感じ不安になることがあり、休んでいる間練習が進んでいるのであればひと言連絡をほしかった
- ・たくさん成長させてくださって本当にありがとうございました
- ・おゆうぎ会で想像以上に踊る事ができた我が子に感動し、感動を届けてくれた先生方と園に感謝します

令和4年度保育教諭の自己点検評価

達成度基準

A:十分できている(90%以上) B:ほぼできている(70~89%) C:あまりできていない(50~69%) D:ほとんどできていない(49%以下)

A-1 保育所保育の基本:35項目 A-2 子どもの生活と発達:24項目 A-3 保護者に対する支援:5項目

A-4 社会資源としての支援と連携:4項目 A-5 日常業務と資質向上:11項目

A-1 保育所保育の基本 ー 保育の方法・内容 ー				
1 子ども一人ひとりの発達や生活環境を理解して丁寧に良く対応している。				
A	6	20	D	
2 心身の状態を把握し、子どもの気持ちや感情に配慮し良く対応している。				
A	10	16	D	
3 「早くしなさい」、「だめ」等、せかす言葉、制止する言葉を不必要に用いていない。				
A	8	16	2	
4 午睡時は、一人ひとりが安心して静養できる環境作りを心がけている。				
A	20	6	D	
5 排泄に際して、子どもが自ら進んで行けるような配慮や工夫をしている。				
A	9	15	2	
6 衣服の着脱に際して、子どもの意欲を大切に、着脱しやすいよう配慮している。				
A	5	19	2	
7 活動に際して、子どもが健康・安全に過ごせるような内容・環境を工夫・配慮している。				
A	10	16	D	
8 食事等は子ども一人ひとりの育ちにに応じて、基本的な生活習慣の定着を図っている。				
A	5	19	2	
9 子ども同士、相手の気持ちがわかるような声かけや援助を行っている。				
A	5	20	1	
10 集団の中で遊びを中心として、ルール(きまり)の大切さを伝える工夫をしている。				
A	6	19	1	
11 色々な人との交流や地域の人の関わりに、親しみや感謝の気持ちを持つよう機会・配慮をしている。				
A	2	9	14	1
12 身近な自然に興味・関心が持てるよう工夫し、豊かな感情の育成や探究心に対応している。				
A	5	15	4	2
13 地域との人達とあいさつをしたり触れ合う機会、散歩等を積極的に取り入れている。				
A	3	15	6	2
14 集団の中での過ごし方や役割について気づけるような工夫・配慮をしている。				
A	2	16	2	
15 読み聞かせの時間を大切に、紙芝居なども積極的に取り入れている。				
A	9	14	3	
16 子どもが話しやすい雰囲気作りを心がけ、遊びや活動の中でも触れている。				
A	10	16	D	
17 子どもの言葉にしっかり耳を傾け、保育室にも写真や絵等と自然な形で文字を取り入れている。				
A	8	14	4	
18 生活に必要な簡単な文字・記号等に、興味や関心を持てるよう配慮している。				
A	2	19	5	
19 言葉、絵、造形、音など、子どもが最も得意な方法で、見たもの感じたものを表現することを大切にしている。				
A	6	14	6	
20 自由に表現できる環境作りを心がけ、様々な素材を提供し楽しめるよう工夫している。				
A	2	18	6	
21 道具の正しい使い方を、一人ひとり丁寧に教えたり、見守ったりしている。				
A	3	19	4	
22 授乳は、子どもが要求する時に抱いて目をあわせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている。				
A	1	5	D	
23 離乳食については、家庭と連携を取りながら一人ひとりに丁寧にやっている。				
A	1	5	D	
24 おむつ交換をする際は、乳児の気持ちを考慮しスキンシップをとりながら行っている。				
A	1	5	D	
25 乳児を寝かせる場合には仰向けにし、呼吸や健康状態を定時に確認し、記録をしている。				
A	1	5	D	
26 乳児の発達段階を理解し、個々の成長や場面場面での適切な対応に努めている。				
A	1	5	D	
27 一人ひとりを細かに把握し、家庭と連携しながら丁寧にやっている。				
A		6	D	
28 長時間(延長)保育のために、家庭的な雰囲気やくつろげる環境作りに配慮している。				
A	3	15	D	
29 子どもその日の様子を職員間で伝達し、連絡帳等の内容を検討しながら確実に保護者に伝えている。				
A	2	18	6	
30 ビデオ視聴に頼らず、子どもの不安な心に寄り添い安心して待てるよう配慮している。				
A	5	10	2	
31 障害児保育、特別支援教育などに関する研修(勉強)や資料収集等、積極的に取り組んでいる。				
A	1	10	7	
32 障害のある子どもの保育について、園全体での話し合いの場で、積極的に意見を述べている。				
A	1	10	9	
33 障害のある子どもに関する情報を適切に他の保護者にも伝える工夫や配慮をしている。				
A	2	8	8	
34 子どもの人権への配慮や、互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている。				

A		B	16	C	10	D	
35性差への先入観による、遊びや職業に固定的な対応をしないよう配慮している。							
A		3	B	18	C	5	D
36指導計画の作成は、園の理念や方針・保育課程等を基にし、柔軟に対応出来るようにしている。							
A		6	B	9	C	3	D
37個別の対応や養護的側面(基礎的事項)と教育的側面の両面について考慮している。							
A		2	B	12	C	2	D
38指導計画を子どもの発達や興味・関心に基づいて見直し、次の計画作成に生かしている。							
A		5	B	9	C	2	D
39子どもの活動の展開に合わせて援助の仕方を具体的にし、反省・評価を次の指導計画に反映させている。							
A		6	B	9	C	1	D
40指導計画のねらいや内容を保護者にもわかるように説明する取組や配慮をしている。							
A			B	10	C	5	D
41現在、担当している子どもの個人記録を詳細かつ丁寧に作成し、毎日(定期的に)記入している。							
A		2	B	8	C	6	D
42子どもの個人記録に基づく情報を、その子どもに関わる他の職員や全体に周知している。							
A		5	B	10	C	1	D
43ケース会議や職員会議などで、積極的に発言をし子どもに関する情報を全体に周知している。							
A		4	B	16	C	6	D
44子どもに関する記録(電子データ含)は、適切な場所に保管し、保存不要な書類は適正に廃棄している。							
A		6	B	10	C	2	D
健康安全管理・食事							
45登園時や保育中の子どもの体調の変化に気づき、すぐに対応できるよう努めている。							
A		12	B	14	C		D
46トイレに行くことをせかしたり、強制したりせずに、一人ひとりのリズムに合わせているようにしている。							
A		9	B	10	C	1	D
47身体測定や健康診断の結果を保護者・職員間で共有し、日常の保育に生かすよう努めている。							
A		5	B	15	C	6	D
48感染症が発症した際、マニュアルに基づいて対応し、個別に状況確認など連絡を密にしている。							
A		6	B	18	C	2	D
49子どもの軽微なケガや疾病等についても、その後の経過等保護者と丁寧に連絡を取っている。							
A		8	B	15	C	3	D
50屋外の遊具を使用する時は、事前に安全点検簿のチェックや自ら点検や汚れに気を配っている。							
A		8	B	16	C	2	D
51子どものその日の喫食状況(哺乳量)を保護者に伝え、家庭との連携を図るよう努めている。							
A		5	B	15	C	2	D
52食事に関し一人ひとりの子どもの状態(個人差や食欲)に応じた対応をしている。							
A		8	B	18	C		D
53食事に興味を持てるよう配慮したり、落ち着いて食事を楽しめるよう工夫している。							
A		5	B	15	C	2	D
54食物アレルギー等の子どもに対して、専門医の指示のもと適切な対応をしている。							
A		6	B	11	C	1	D
55子どもが心地よく過ごすことができるよう、採光や換気、温度や湿度に配慮している。							
A		11	B	13	C		D
56手洗い場(水飲み場)での事故や怪我がないように配慮し、常に清潔にしている。							
A		10	B	15	C		D
57保育室の環境の色彩や音、遊具の素材・配置等を工夫し、安心して豊かな活動ができるように配慮している。							
A		8	B	11	C		D
58子どもが安心した環境の中で、満足して自由に遊べるような取り組みや工夫をしている。							
A		5	B	16	C		D
59様々な遊具や用具を使った運動や戸外遊びを積極的に取り入れ、工夫をしている。							
A		6	B	10	C	2	D
60保護者との関わりを積極的に持つよう意識し、子どもの情報や養育方針等を得ている。							
A		8	B	13	C	5	D
61子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接し、送迎の際にも言葉を交わしている。							
A		5	B	14	C		D
62日常の保護者との会話では必要に応じて、また保護者との面談では、必ず記録等をとっている。							
A		4	B	12	C	4	D
63一時保育の際、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、丁寧に対応している。(担当以外は園の現状を評価)							
A		8	B	15	C		D
64一時保育は、通常保育や入所児童との関連を配慮しながら行っている。(担当以外は園の現状を評価)							
A		5	B	14	C	3	D
65園がその役割を果たすために必要な、地域の関係機関の所在や内容について理解している。							
A		3	B	13	C	8	D
66園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常的に雰囲気作りを良く心がけている。							
A		2	B	18	C	5	D
67中高生等の保育体験やボランティアを受け入れる際には、その意義や方針を理解・確認している。							
A		2	B	12	C	7	D
68実習生を受け入れるときには、意義や方針を理解し、指導的立場にあることを意識している。							
A		3	B	12	C	6	D
69法人の理念や園の保育方針を理解し、日々の保育活動や業務に生かしている。							
A		4	B	18	C	4	D
70保護者等に、園の保育理念や保育方針を理解してもらうよう努め、良好な連携をしている。							
A		2	B	15	C	6	D
71管理者層(園長、主任等)や同僚との間で良好な関係を築き、何事にも責任を持って取組んでいる。							
A		3	B	16	C	7	D

72会議等で管理者層に対しても、積極的に質問や課題提起をし、正論を協議している。				
A	1	B	9	C 1
73上司・先輩の指導を受け入れ業務に生かしている。又、後輩に対しても適切なアドバイス(OJT等)を行っている。				
A	2	B	10	C 9
74個人情報(生活状況)やプライバシー保護の観点から、日頃、守秘義務を徹底している。				
A	20	B	6	C D
75自らの保育実践を振り返り、改善や評価をし、専門性の資質向上に良く努めている。				
A	1	B	13	C 4
76自ら、日常の保育技能(ピアノ、造形・絵画、読み聞かせ等)に関して、向上するように良く努めている。				
A	1	B	10	C 9
77保育雑誌の個人購入や新聞、ネット、TV等で最新の様々なニュースや情報を取得しようと努めている。				
A	3	B	15	C 7
78職場内において保護者等には正対し、目を合わせての挨拶や正しい言葉遣い(丁寧・敬語等)で、接している。				
A	10	B	13	C D
79国家資格(保育士)を持つ職業人(プロ)として、職場内外での言動への配慮や自己研鑽に努めている。				
A	2	B	14	C 10

◇令和4年度 本人総合評価（保育教諭）◇

<p>保育の補助として主に保育教諭が円滑に活動を進められるように意向をくみ取りながら準備・片付け・補助等に努めた。障害児や気になる子の関りについて勉強、実践に努めることが出来た。</p>
<p>子どもが多いなか保育教諭の連携がうまく取れないとスムーズに保育も進められないと思いますが、コミュニケーションを常に取りながら進めることができていたと感じた。</p>
<p>保育士の虐待が多数報道された中で子どもへの関り方への相談に対し共に意見を出し合い子ども達の成長を見守りながら保育出来たと思う。</p>
<p>虐待の研修や食物アレルギーのスキルアップ研修を受講することが出来、自分の保育の見直しや食物アレルギーや食育について学ぶ事が出来た。今後の保育に生かしていけるよう努めたいです。実習生に対する指導など難しく感じることもあったが指導することで、自分の学びにもなったと感じる。</p>
<p>自分にできる事を考え、日々の保育の振り返りをしながら、保育教諭間での話し合いや雰囲気や気を大切に努めてきた。気になる子の保育と集団での保育とのバランスや難しさを感じ、自分の力量のなさを感じ、更なるスキルや知識を身につけていきたい。</p>
<p>コロナで行事が少なくなっているなかで保育教諭同士が協力し合って一つのものづくりをしていく過程が希薄になっているように感じる。クラス以外の先生との関りを次年度はもっと増やしていき、それぞれの人間性に触れ、分かり合い、よいチームワークを作っていけたらと思う。</p>
<p>コロナ禍で行事が減ったが、運動会やおゆうぎ会などで保護者に子どもの様子を見てもらうことができて良かった。また、保護者には送迎の際にできる限り園での様子を伝え、コミュニケーションをとるように心がけた。キッズビューでの打ち込み忘れやミスなど0歳児にとって大事な部分がぬけてしまったところは反省点であり、他の職員にも声かけすることで、みんな防げることだったと思う。忙しいを理由におろそかにならないよう考えて行動していきたい。</p>
<p>いろいろな行事があるたび、準備に追われて日々の保育を充実させたものにする事ができなかつたと反省している。就学を見定めて、待つことの大切さや順番を伝えることが多かったが「だめ」「待ってて」などの抑圧的な言葉を使うことも多く使ってしまった。今後そのような言葉を使わないように保育したい。また、虐待の研修を行うことで、自分の保育の見直しをすることが出来たので定期的に自分の保育を見直して過ごしていきたいと思う。</p>
<p>一年を振り返り大きな怪我や事故なく過ごせたことが良かったと思う。子ども達の個性を大切に大事にしながら関わるようにすることを一番に考え過ぎたが、成長して欲しい事、身につけて欲しい事はその都度しっかり伝えるようにした。運動能力、身体能力的な成長を見極めて、その都度合った活動ができるように考えた。その中でも縄跳びはとても子ども達が興味をもてる活動だったようで進んで取り組んでいた。</p>
<p>ひとり一人の成長や発達に合った関りが出来たか？と考えると、不用意には用いてはいないが「はやく」「だめ」という言葉が多かった。“短くわかりやすく”という部分で伝わりやすいと思っていたが虐待の研修ではそれが良くないと書かれてあり、考えたり反省したりする部分でもあった。また、園児が騒ぐ、叫ぶ、暴れるなどあった際の対応として言葉がきつくなってしまうことがあったので気をつけることと、プラスになる言葉に言い換えて伝えることを意識している。</p>
<p>チーム力もよくそれぞれの先生方も意見を出し合いみんなで進めていけたことが良かった。クラスの流れも円滑に進み朗らかな環境の中で子ども達と一緒に楽しく成長を見守ることが出来た。反省点として指導計画の記入が遅くなった事。今後定期的に記入していけるように努力したい。保護者との関りも距離感もち、言葉遣いにも気を配りながら接していきたい。</p>
<p>子どもとの関りの中でどのように接したらよいかかわからない場面や言葉がけの仕方に悩むことがあった。その都度先輩に保育教諭の関りが適切であったか確認した。自分の関りがあっているのか分からない時でも相談すると様々な関り方があると再認識ができ自分の保育に生かすことが出来た。</p>
<p>自己評価ではほとんどがBにチェックが付いたが、自信を持って自分の中でも良い評価ができる日々の自分の保育を見直しレベルアップ出来るよう頑張っていきたい。また、子どもになついても保護者に対しても謙虚に誠実に対応、関わって行きたい。</p>
<p>アレルギーを持ち除去食を食べている子たちに対して配膳前に職員間で確認し誤食を未然に防ぐことが出来たと思う。また、保護者対応にも力を入れた。一日の様子や活動中の会話など家事や仕事おわりに保護者がホット一息出来るようなエピソードを伝えていく事が出来たと思う。今後も時間を守ることや提出物の期限を守るなど社会人として当たり前のマナーを守りプロの保育教諭に誇りを持って日々精進していきたいと思う。</p>
<p>自己評価をすることで自分自身の改善点が見えてきたので資質向上に努めていきたい。障害児保育をもっと知りたいと思った。</p>

